

東日本旅客鉄道株式会社長野支社と国立大学法人信州大学との
連携事業として観光振興・人材育成の授業を開講します
～10/10（火）キックオフイベント（松本駅周辺でのフィールドワーク）を開催～

東日本旅客鉄道株式会社長野支社（以下、JR東日本長野支社）と国立大学法人信州大学（以下、信州大学）は、観光産業への関心を高め、観光人材の育成を目的とした連携事業として授業を開講します。4年目は内容もリニューアルし、講座名も「価値創造実践ゼミ」としてスタートします。

1 講座名

2023年度「価値創造実践ゼミ」

（全学横断特別教育プログラム「ローカル・イノベーター養成コース」「ストラテジー・デザイン人材養成コース」スタートアップ授業）

2 授業の特徴（2023年度 新規取り組み）

2023年度は、新たにJR東日本グループが取り組む他大学の寄附講座との連携（クロス授業）を実施します。また、今年度は、受講生による事業提案とは別に、授業メンター学生（先輩）とJR東日本長野支社社員の合同チームによるプロトタイプ事業を創出します。さらに、受講生による提案の精度を上げるため、5つのフォーカスポイントと2つの必須要件を設け、松本周辺エリアを軸にした観光分野の新たな価値創造に取り組めます。

【フォーカスポイント】

- ・観光地への移動手段（二次交通）：最寄駅と観光地との移動の利便性を向上するには？
- ・インバウンド（訪日外国人旅行者）：おすすめの観光スポットは？必要なサービスは？
- ・プロモーション（情報発信・宣伝）：知ってほしい情報を知ってほしい方に届けるには？
- ・旅の目的（モノではなくコト）：人を惹きつける観光素材や体験は？
- ・地域との連携：地域の皆さまも参画して一緒に地域を盛り上げていくためには？

【必須要件】

- ・長野県内（地域限定も可）の観光や生活の魅力向上につながること
- ・JR東日本グループのリソースを活用すること

3 授業の形式

Problem/Project Based Learning：PBL方式で実施し、リアルな現場においての問題発見、課題設定、課題解決を行いながら、知識を実践的に活用する学びを行います。知識獲得においては、観光に携わる外部講師（実務者）を招聘し、先進的な取り組みや分析視点を学びます。テーマごとにチームを形成し、授業時間外でのフィールド調査分析を行い、最終的に課題解決プログラムを報告会（2024年2月20日開催予定）にて提案します。

4 対象・定員

全学生・20名程度

5 時期

2023 年度後期（2023 年 9 月～2024 年 2 月）

6 キックオフイベント（松本駅周辺でのフィールドワーク）

本授業の一環として受講生を対象に実施し、JR 東日本グループの様々なリソースへの理解を深める機会とします。具体的には松本駅構内のモデルコースを辿るとともに、駅周辺を歩きながら、「エキトマチチケット」(*) を利用できる店舗を巡り、実際に利用してみる体験学習を実施します。

※「エキトマチチケット」とは JR 東日本が発行する 1 枚 500 円の電子チケットです。

<https://www.jreastmall.com/shop/pages/ekitoma.aspx>

日時：2023 年 10 月 10 日（火）(1)17:00～18:30 (2)18:30～順次解散

場所：(1)松本駅構内 (2)松本市内

集合場所：訪日外国人旅行者専用カウンター「JR EAST Welcome Center MATSUMOTO」

内容：(1) フィールドワーク①

「松本市に来た県外からの観光客」目線のモデルコースを辿り、利用者の動きを見ながら、JR 東日本グループの様々なリソースへの理解を深める

(2) フィールドワーク②

松本駅前周辺を散策しながら「エキトマチチケット」の利用可能店舗や利用方法を知り、消費者の目線でサービスを体験する